

子どもの教育環境の充実

子どもたちの豊かな心の育成と学力向上を図る！



関連する SDGs



これからの情報化社会の進展に対応できる人材を育成するため、I C T機器を活用した教育を推進し、子どもたちの学習意欲を高めるとともに、主体的・対話的で深い学びの実現を目指します。

また、複数教職員による指導により、教員の教材研究の時間確保、指導内容の充実ときめ細かな指導に努めます。

寄附活用事業の概要

令和7年度事業費 298,039千円

★ 学校 I C Tサポート体制整備事業 22,900 千円

市内全ての小・中学校、市立高校、大山塾へ I C T支援員を配置して、I C T教育の推進を図ります。

★ 学習支援員の配置 101,994 千円

学習支援員（42名）を配置して、通常学級に在籍し、一人での学習が困難な児童・生徒に対するサポートを行います。

★ 学習者用端末整備事業 154,000 千円

令和2年度に整備した学習用端末（一人一台）を更新し、I C T機器を活用した教育を推進することで主体的・対話的で深い学びの実現を目指します。

★ いばらっ子伸びる学力支援事業 19,145 千円

少人数指導及び専門性を生かした学習指導を充実させるため、小・中学校に非常勤講師を配置します。また、学校生活のスムーズなスタートに向け、小学校1年生の30人以上の学級に小1支援員を配置します。